

北勢線



↑往復で1つの線路を使う「単線」なので、景色が両側から迫ります。市街地を越えると、猿などを見かけることも。

↓**ナローゲージの線路幅** 北勢線の線路幅、ナローゲージ(特殊狭軌)は762mm。日本の一般的な路線と比較すると、その狭さがわかります。



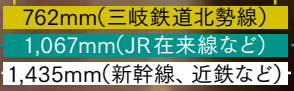
開業から100年を越え、いまや希少な存在となった小さな電車は、通勤通学に欠かせない近隣住民の交通手段です。

日本で3カ所だけ!

地元で愛される小さな電車

桑名市から東員町を抜け、いなべ市阿下喜を結ぶ三岐鉄道北勢線は、ナローゲージの鉄道です。「ナロー(＝狭い)」「ゲージ(＝軌間)」、つまり線路幅が一般的な路線より狭く、新幹線のおよそ半分。ナローゲージは「軽便鉄道」とも呼ばれ、明治から大正期に全国で多く作られました。建設費や維持費が安い反面、車両が小さいため最高速度や輸送力が時代に合わず衰退し、国内で現役の鉄道は北勢線のほか四日市あすなろう鉄道内部・八王子線と富山県の黒部峡谷鉄道のトロッコ列車の3カ所を残すのみ。北勢線は何度か存続の危機を迎えながらも地元を支えられ、開業から100年を超えました。平成15年から、沿線の桑名市・東員町・いなべ市の支援で三岐鉄道が運営しています。

「地元には駅があって、駅から何分と言えることは、たとえ小さくてもまちの可能性を広げると思うんです」「安全で環境に優しく、時間も有効活用できる。電車って良いですよ」と三岐鉄道(株)の小林努さんは言います。





西桑名駅近くの踏切では、近鉄線・JR線・北勢線の3種の線路幅が体験できます。



↑楚原駅近くの「めがね橋」近くの「ねじり橋」とともに土木学会選奨土木遺産に認定される人気撮影スポット。

←「ねじり橋」は斜めに用水を越えるため、アーチ部分のブロックがひねりを入れて積み込まれている、建築上とても珍しい橋です。

北勢線を利用している高校生にインタビュー



いなべ総合学園高等学校3年
西村 萌花さん (東員町在住)

北勢線は名古屋に買い物に行くときに西桑名駅まで利用するほか、雨の日に通学で利用することもあります。家族では父が通勤で利用している、「朝は学生が多く、みんな熱心に勉強しているなあ」と言っています。初めて北勢線を利用したのは小学校の遠足のとき。いなべ市北勢町の万葉の里公園まで行くのに電車を利用したと思います。のんびりした電車でよく揺れますが、今後もう利用していきたいと思っています。



いなべ総合学園高等学校3年
水谷 柊太さん (桑名市在住)

北勢線は毎日通学で西桑名駅から楚原駅まで利用しています。朝は学生がたくさんいてにぎやかです。私も友達と一緒にわいわいおしゃべりを楽しみながら乗っています。私が北勢線に乗って一番好きなのは、ほかの路線に比べて速度が遅いので景色をじっくり見られることです。田園風景や鈴鹿山脈がとてもきれいです。通勤、通学の人だけではなくもっとたくさんの人に乗りてもらい、この景色を楽しんでもらいたいです。



桑名高等学校2年
島田 莉音さん (いなべ市在住)

通学のため、阿下喜駅から馬道駅まで乗車していません。楚原駅止まりは不便に感じますが、乗り換え無しで通えるのがいいなと思っています。部活帰りは馬道駅での待ち時間に小テストの勉強などをしています。休日に3歳のいとこと大泉駅の「うりぼう」にジェラートを食べに行くこともあります。家から遠い高校に通っているのは「教師になる」という夢のためです。北勢線がなければ夢も叶わないので、感謝しています。

北勢線に乗って

出かけよう！

北勢線は朝晩の混雑時を除き、約30分に1本の間隔で、西桑名駅から阿下喜駅まで約1時間の運行です。無料駐車場が併設された駅では、車と組み合わせた「パークアンドライド」も便利。

地域で鉄道を盛り上げる季節イベントが行われ、沿線の各種団体と連携の貸切列車、ハロウィンには列車がおぼけ仕様になる「ナロウイントレイン」、クリスマスには、四日市大学の学生がサンタ姿でお菓子を配るサンタ電車を開催。アットホームな雰囲気が魅力の北勢線は、地域住民の記憶に刻まれています。

F

駅併設の農産物直売所 ふれあいの駅 うりぼう



近隣農家から届く新鮮野菜や米などの農産品、手作りの豆腐や惣菜、和菓子などが並びます。

地元のイチゴや焼き芋など、季節で変わる手作りジェラートは、濃厚で絶品。



ところ/いなべ市員弁町大泉 2517 (大泉駅隣)
TEL / 74-5866
営/午前8時30分～午後5時
休/火曜日

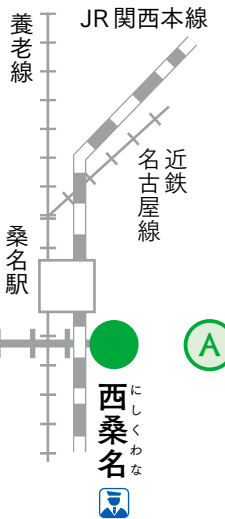
B

はしりいざん まちを一望するお花見スポット 走井山公園

高台からの見晴らしが良く、100本以上の桜が咲く名所。矢田城や、刀鍛冶で有名な村正の屋敷があった場所です。



ところ/桑名市矢田 267(馬道駅～徒歩3分)



C

7揃いで縁起が良い 777 乗車券

起点から7km・7番目の駅、七和。西桑名～七和の記念乗車券と入場券のセットを西桑名駅など有人駅で販売中。



ところ/(七和駅) 桑名市大字芳ヶ崎 602-7(無人駅)

A

商品の鮮度と安さが自慢 桑名寺町通り商店街 三八市

毎月3と8の付く日に開催される名物朝市。新鮮野菜や特産品が並び、毎回5,000人ほどのお客さんが集まります。



ところ/(くわなまちの駅) 桑名市北寺町 49 (西桑名駅～徒歩15分)

- 桑名市
- 東員町
- いなべ市
- P 無料駐車場あり
- 人 有人駅

I旬野菜を最大限においしく味わう
あげきしょくどう
上木食堂
若い農家と料理人による、いなべの野菜のおいしさを提案する食堂。築100年の旅館を改修した店は、連日大人気。



ところ/いなべ市北勢町阿下喜2057(阿下喜駅～徒歩10分) TEL / 82-6058 営/午前11時30分～午後10時 休/水曜日、第1・3木曜日




Hまるで映画のセット!レトロな小学校跡 **桐林館**
とうりんかん
戦前の木造小学校校舎で、国登録有形文化財。地域の資料保存や交流に活用され、カフェの併設を準備中です。



ところ/いなべ市北勢町阿下喜1980(阿下喜駅～徒歩10分) TEL / 72-2200 営/予約時のみ開館



G麻生田駅周辺 **ホテルスポット**
放流などをしなくても天然のホタルが飛び交う地域。街灯が少ないので、夜の観察時は安全にご注意ください。



ところ/いなべ市北勢町麻生田周辺(麻生田駅～徒歩15分)




E中部公園近くのカフェ **くろがねもち**
平日のみ米粉パンやお弁当も販売しています。



地産地消の素材を使う本格和食ランチやモーニングが、公園の緑を眺めながら楽しめます。

ところ/東員町山田1546-1 社会福祉法人いずみ(東員駅～徒歩15分) TEL / 84-6885 営/モーニング 午前9時～11時 ランチ 午前11時30分～午後2時 ティータイム 午後2時～4時 休/日曜・祝日

D家族で一日楽しめる **中部公園**
アスレチック遊具や長さ52mの滑り台、バーベキュー、パークゴルフなどが楽しめる、自然豊かな公園です。



ところ/東員町北大社1634(東員駅～徒歩15分) TEL / 76-8038(12/29~1/3以外の午前8時～午後5時)

匠の里で甦るナローゲージを訪ねて
よみがえ
北勢線に乗って、車庫見学と朝の町巡りツアー

シンボルツリーから名づけられた東員町にある「くろがねもち」で、おいしいモーニングを食べて出発。ついで奈良時代、東大寺を建立した大工猪名部百世の先祖が主祭神の猪名部神社を参詣します。そして全国でも珍しい「ナローゲージ」車両の点検・修理が行われている北勢線の車庫の内部を10人限定で見学します。



とき 7月1日(土) 午前8時30分～正午
コース 西桑名駅 午前8時30分集合 ↓ 東員駅 ↓ くろがねもち ↓ モーニング ↓ 猪名部神社 ↓ 北大社車庫見学 ↓ 東員駅 午前11時50分着・解散
定員 10人(先着順)
料金 2000円(モーニングとお土産に猪名部ジンジャーエール付) 電車代は各自
申込 電話で、北勢線の魅力を探る会へ。
問 北勢線の魅力を探る会代表 近藤方
080-3073-3313

この記事に関するお問い合わせは、秘書広報課
(☎) 24-1492 (FAX) 24-1119 へ。